

彙 報

京都大学文学部西アジア南アジア史学講義題目 (昭和36年度)

講義	足利惇氏教授 } 中原与茂九郎教授 }	西アジア南アジア 史学序説	演習 A	伊藤義教講師	碑文中世ペルシア 語
研究	中原与茂九郎教授	楔形文字法の法原 の研究	〃 B 〃		Vedic Chresto- mathy
〃	羽田 明教授	中央アジア近代史 の研究	語学	中原与茂九郎教授	シュメール語・ア ッカード語入門
〃	伊藤義教講師	イスラム以前のイ ラン文献史とその 諸問題	〃	羽田 明教授	トルコ語
〃	佐藤圭四郎講師	アッパース朝最盛 期史の研究	〃	大地原豊助教授	梵語文法
〃	加藤一朗講師	エジプト埋葬碑の 研究	〃	加賀谷寛講師	近代ペルシア語
〃	渡辺金一講師	ビザンツ史の諸問 題	〃	内田紀彦講師	ヒンディ語
〃	石川栄吉講師	マライシア・オセ アニアの民族地理 学的研究	〃	田中四郎講師	アラビア語(初級)
			〃	〃	アラビア語(中級)
			〃	加藤一朗講師	ヒエログリフ講読
			〃	Dumermuth 講師	ヘブライ予言者た ちの思想(英語)

会 員 消 息

- 岡崎正孝氏 (アジア経済研究所員) は、4月イラン国テヘランに留学。二年間滞在の予定である。
- 宮崎市定氏 (京大文学部教授) は、昨年来パリ大学客員教授として渡仏中であつたが、6月14日伊丹に帰着された。
- 有賀鉄太郎氏 (京大文学部教授) は、スイス・ジュネーブにおける宣教神学委員研究会出席のため6月28日羽田発。以後瑞西、独、英、仏諸国を歴訪、8月帰国の予定である。
- 加賀谷寛氏 (東洋文庫) は、4月より大阪外国語大学へ着任、同月より本学文学部講師。曾て井本英一氏 (広島大学文学部講師) とともにイランに留学された同氏の、関西での今後の活躍が期待される。
- 吉田光邦氏 (京大人文科学研究所助教授) の1959年度イラン、アフガニスタン、パキスタン調査隊旅行記“砂漠の十字路”は、1960年6月淡交新社より刊行。
- 岩村忍氏 (京大人文科学研究所教授) の、1955 KUSE (カラコラム・ヒンズークシ調査) の調査報告“ZIRNI MANUSCRIPT” (KUSE. vol. VI) は1961年6月刊行。